

## 社会資本総合整備計画

計画の名称	自然災害に強く地域で安心安全を支え合う胎内防災まちづくり		
計画の目標	大規模地震発生時に滑動崩落のおそれがある大規模盛土造成地の調査・抽出を進め、地域住民に盛土造成地に関する情報を提供することにより、自然災害に強く地域で安心安全を支え合う胎内防災まちづくりを推進する。		
計画の期間	平成27年度～平成29年度(3年間)		
対象地域	第一次スクリーニングにより抽出した範囲		
計画の成果目標		当初現況値	最終目標値
第二次スクリーニング調査の進捗を図り、滑動崩落のおそれが大きい大規模造成地を抽出する  ・第二次スクリーニング調査完了面積(累計) ・第二次スクリーニング調査進捗状況 = 第二次スクリーニング調査完了面積 ÷ 対象面積(76,771㎡: 第一次スクリーニングで抽出した面積) × 100		(H27当初) 0㎡  0%	(H29末) 76,771㎡  100%
主な交付対象事業			
事業名	事業箇所	事業内容	事業主体
基幹事業 宅地耐震化推進事業	第一次スクリーニングにより抽出した範囲	第2次スクリーニング調査 (面積=76,771㎡)	胎内市
効果促進事業 宅地耐震化啓発事業	第一次スクリーニングにより抽出した範囲	盛土状況図の作成・公表	胎内市

# 自然災害に強く地域で安心安全を支え合う胎内防災まちづくり

## 1. 事業概要

滑動崩落などの造成宅地における崖崩れ又は土砂の流出による災害防止を図るため『大規模盛土造成地の変動予測調査ガイドライン』に基づく第二次スクリーニング調査等を行う。

(対象面積 76,771m<sup>2</sup> )

## 2. 事業主体

胎内市



## 3. 事業効果

大規模盛土造成地(宅地)の位置や危険度を把握することにより、住民、地区及び行政において災害に備えた事前の対策が可能となる。

## 4. 実施状況及び今後の予定

年度	実施状況及び事業概要	備考
平成 27 年度	第二次スクリーニング調査の実施	
平成 28 年度	第二次スクリーニング調査の実施	
平成 29 年度	第二次スクリーニング調査の実施 盛土状況図の作成・公表	

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 自然災害に強く地域で安心安全を支え合う胎内防災まちづくり

事業主体名: 胎内市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の可能性)	○
②計画内容に関し、住民に対する事前説明が行われている。	○